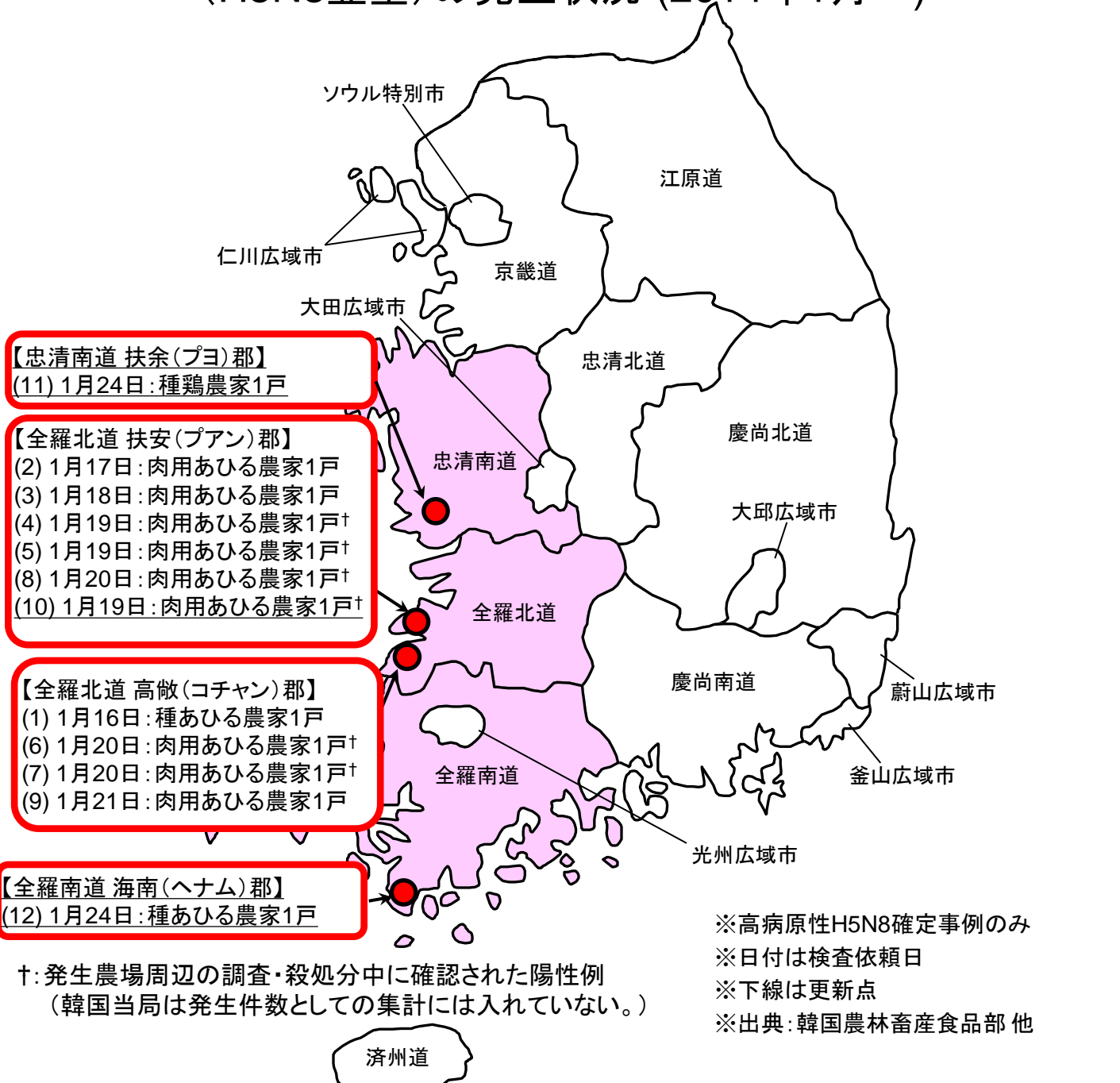


韓国における高病原性鳥インフルエンザ (H5N8亜型) の発生状況 (2014年1月～)



【忠清南道 扶余(プヨ)郡】
(11) 1月24日: 種鶏農家1戸

【全羅北道 扶安(プアン)郡】
(2) 1月17日: 肉用あひる農家1戸
(3) 1月18日: 肉用あひる農家1戸
(4) 1月19日: 肉用あひる農家1戸†
(5) 1月19日: 肉用あひる農家1戸†
(8) 1月20日: 肉用あひる農家1戸†
(10) 1月19日: 肉用あひる農家1戸†

【全羅北道 高敞(コチャン)郡】
(1) 1月16日: 種あひる農家1戸
(6) 1月20日: 肉用あひる農家1戸†
(7) 1月20日: 肉用あひる農家1戸†
(9) 1月21日: 肉用あひる農家1戸

【全羅南道 海南(ヘナム)郡】
(12) 1月24日: 種あひる農家1戸

※高病原性H5N8確定事例のみ
※日付は検査依頼日
※下線は更新点
※出典: 韓国農林畜産食品部 他

†: 発生農場周辺の調査・殺処分中に確認された陽性例 (韓国当局は発生件数としての集計には入れていない。)

【野鳥での発生・対応状況】
1月17日~: 野鳥検査(8市・道、82件)
1月20日~: 東林貯水池(全羅北道高敞郡)、錦江河口(忠清南道舒川(ソチョン)郡、全羅北道群山(クンサン)市)、始華湖(京畿道華城(ファン)市)で陽性
・陽性合計: 13件(トモエガモ8件、ヒシクイ3件、オオバン1件、糞便1件)
・野鳥の検出地点から10km内の家きん飼育場の移動制限措置、30km内の家きん飼育場の臨床調査、周辺道路・家きん農場の消毒

【防疫対応状況】
1 殺処分
・現在までに殺処分が完了: 64万4千羽(43戸) (あひる 54万4千羽(39戸)、鶏 10万羽(4戸))
・殺処分予定: 81万3千羽(27戸) (あひる 16万4千羽(6戸)、鶏 64万9千羽(21戸))
・発生農場、疫学関連農場、各発生農場周囲の農場(あひる農場及び鶏農場: 危険地域(3km)内を対象)
2 現在の対応状況
・一時的な家きん等の移動停止命令(対象: 忠清北道、忠清南道、京畿道、大田広域市、世宗特別自治市 期間: 1月27日午前6時~1月27日午後6時)
・市・道・家畜衛生試験所等の全ての防疫車両を動員し、主要道路・家きん類の畜産施設周辺を一斉消毒。